

ライフクリーンL-01

● 消防法非該当 ● 毒劇法非該当 ● 有機則非該当 ● PRTR非該当 ● ハロゲン非含有

- 硬化した各種塗装膜(溶剤、カチオン電着等)を膨潤剥離可能です。
- アクリル、ウレタン、エポキシなどの各種樹脂膜や接着剤を剥離可能です。
- 膨潤剥離タイプのため、剥離した塗膜を除去することで繰り返し使用可能です。
- 揮発性溶剤に比べて液補充が圧倒的に少なく使用できます。

用途

- 鉄、SUS上の各種樹脂膜、塗装膜、接着剤の剥離
- 鉄製の金型やマスクに付着した樹脂残渣、剥離剤、インクの除去

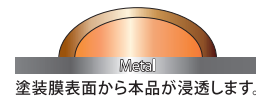
剥離例

鉄製品(アクリルウレタン系塗料) 40℃、30分間浸漬

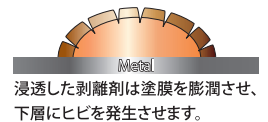


剥離メカニズム

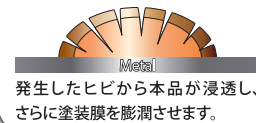
1STEP



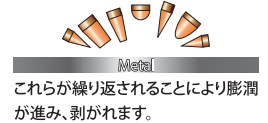
2STEP



3STEP



4STEP



使用上の注意

● 材質により変色や腐食する恐れがあるので、用途及び使用方法以外では使用しない。● 吸入飲用不可・人体に害があるので、吸入したり飲んだりしない。● 眼に入ると障害を生じる恐れがあるので、保護メガネを着用する。● 皮膚を傷める恐れがあるので、保護手袋を必ず着用する。● 取り扱い後はよく手を洗う。● 加温等により、水分が蒸発減少すると、成分が析出したリ引火点が生じることがあるので、水や製品を適切に補充する。● 引火した場合は棒状注水ではなく、泡・二酸化炭素・粉末消火器等を使用して消火する。● 使用前に、部品の材質への影響を確認する。● 床・壁・器具等にかかると、腐食・変色・塗装剥離する可能性があるため、かからないようにする。● キャップを開ける時に液が飛び出す恐れがあるので注意する。● 使用中で容器を移動させる場合は、キャップをしっかり閉め、液が漏れないことを確認する。

応急処置

● 吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、すみやかに通気の良い所で安静にする。気分が回復しない場合は、本品持参の上、医師の診断を受ける。● 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、無理に吐き出させないで、本品持参の上、医師の診断を受ける。● 眼に入った場合は、こすらずすぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗い、本品持参の上、すみやかに医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗眼し続け、すみやかに医師の診断を受ける。● 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸で洗った後、多量の水で15分以上洗い流す。異常がある場合は、医師の診断を受ける。(衣服にかかってしみ込んだ場合は直ちに脱衣し、同様の処置を行う。) ● 衣服にかかった場合は、シミになる恐れがあるので、すみやかに洗浄する。

保管及び廃棄方法

● 子供の手の届く所には置かない。● 保管時には必ず密閉し、直射日光の当たる場所、凍結の恐れのある所、40℃以上になる所や、水・湿気が多い場所には置かない。● 横に倒して保管しない。● 廃棄の際は、内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

※ここに明示された以外の詳細については当社発行のSDS(安全データシート)をご覧ください。

使用方法

※作業をする際は保護メガネ、ゴム製手袋、ゴム製保護衣を必ず着用してください。

- ①【剥離工程】 剥離対象物を本品に浸漬してください。塗装膜の種類や状態にもよりますが、浸漬時間の目安は10~60分程度です。剥離が不十分な場合には、剥離状況を確認しながら浸漬時間を延長してください。必要に応じて高圧水やブラッシング等で塗装膜を除去してください。
- ②【水リンス工程】 塗装膜の剥離後は十分に水リンスを行ってください。※リンス後の水は関連法規や自治体毎の条例に従い処理してください。
- ③【乾燥工程】 必要に応じてエアブロー等で対象物を乾燥してください。※対象物が鉄の場合には錆の原因になりますので、十分に乾燥してください。



荷姿	20kg/ボトル
製品コード	3579
管理No.	UG01
JANコード	4979782035790